

令和6年度 教育計画
四国中央市立新宮小学校

学校番号 14

校長名	篠原 雅代	学級数	7 (1)	児童数	53	教職員数	9
-----	-------	-----	----------	-----	----	------	---



令和6年度新宮小・中学校グランドデザイン

教育目標

豊かな自然の中で心豊かに学び、
夢や希望を実現しようとする子どもの育成

めざす子ども像

学び鍛えともに育つ

学び続ける子

つながり合う子

ふるさとを愛する子

確かな学力

- 授業のUD化
- ICT機器の有効活用
- 探究的な授業展開
- 学び合い学習の推進
- 個に応じた指導の徹底
- 漢検、数検(算検)、英検の推奨とサポート

豊かな心

- 優しい子の育成
- 心に響く道徳教育の推進
- 自他の良さを認め、なかま意識を高める活動の充実
- 様々な体験活動、交流活動、社会貢献活動の充実
- ふるさと学習の充実

健やかな体

- 基本的な生活習慣の確立
- 粘り強く物事に取り組む心の育成
- 体育科と保健体育科の授業改善
- 食に関する指導の充実
- 防災教育、安全教育の推進

小中一貫教育

わくわくプラン

キャリア教育

学校

地域とのつながりの中で

学校運営協議会(コミュニティ・スクール)

家庭

地域

大好き!新宮



<p style="text-align: center;">重 点 目 標</p>	<p>1 確かな学力を育てる教育の推進（知）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての児童が、『楽しい』『分かる』『できる』ことを目指したUD化の授業づくり ○ 主体的に学習する力、問題解決能力を育てる探究的な授業展開 ○ 一人一人の主体性やコミュニケーション能力を育てる学び合い学習の推進 ○ 少人数であることを生かした、個別支援と個別指導の充実 ○ 英語検定3級以上の合格を目指した英語科の授業展開 ○ 個に応じた細やかなキャリア教育と進路指導の推進 ○ ICT機器を有効活用した、情報活用能力の育成 ○ 漢字検定、数学検定、英語検定の奨励 <p>2 豊かな心を育てる教育の推進（徳）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめ、不登校の早期発見と早期解決のための、教育相談体制の整備と充実 ○ 全校体制で取り組む人権・同和教育と特別支援教育の推進 ○ 道徳科の授業を要とした、教育活動全体で行う心に響く道徳教育の推進 ○ 小中合同行事や異年齢集団による交流活動など、仲間意識を高める活動の充実 ○ 地域の教育資源、教育力を生かした様々な体験活動や交流活動と、社会貢献活動の推進 ○ 全ての児童の良さや可能性を伸ばし、自己有用感の高揚を図る教育実践 <p>3 健やかな体を育てる教育の推進（体）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 早寝早起き朝ごはんや好ましい食習慣などの基本的な生活習慣の確立 ○ 外遊びなどの奨励、体育科の授業改善を通じた望ましい運動習慣の確立 ○ 食や性に関する指導と相談活動の充実 ○ 主体的な態度（自助、共助）を育てる防災教育と安全教育の推進
<p style="text-align: center;">管 理 運 営</p>	<p>1 人的管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「新宮地区の将来を担っている」という使命感を持ち、小・中学部が連携した教育の推進 ○ 綱紀保持と服務規律の徹底 ○ ワークライフバランスをとり、「働き方改革」と「ウエルビーイング」を意識した業務改善 <p>2 物的管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設・設備の安全管理 ○ 危機管理意識の高揚と、安全確保の徹底 ○ キャリア教育を推進していくための、多くの体験活動や、連携授業の整備 <p>3 事務管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ICTを有効活用しての事務処理の効率化 ○ 経理事務の厳正な執行と個人情報の適切な管理・活用
<p style="text-align: center;">本 校 教 育 の 特 色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小規模特認校としての「わくわくプラン」を推し進め、「学校が楽しい」「みんなで何かをするのは楽しい」「授業がよくわかる」「いじめ、不登校のない学校の実現」を目指す。 ○ 小中一貫教育校かつへき地校の特性を生かし、系統のかつ組織的な指導を丁寧に行うことを通して、自己の能力を十分発揮する児童生徒を育成する。 ○ コミュニティ・スクールやスクールサポーターを活用し、学校運営に地域の声を積極的に反映しながら、地域と一体となって特色ある学校づくりを推進する。